

平成30年

第4回八頭町議会定例会

提案理由書

平成30年6月7日

報告第1号

八頭町土地開発公社の経営状況について

平成29年度は、公社運営のための通常業務を行いました。

次に、決算の概要についてご報告いたします。

(3ページ) 収益的収入及び支出であります。収入は事業外収益として、受取利息の9千円余です。

支出につきましては、一般管理費として、7万2千円余を支出しております。

これは町・県の法人税、7万1千円と事務管理費です。

次に、(4ページ) 資本的収入及び支出であります。資本的収入、支出はありません。

(5ページ) 貸借対照表の資産につきましては、現金及び預金、1,911万1千円余、基本財産定期預金、500万円となっております。

また、負債・資本につきましては、資本金、500万円、前期繰越準備金、1,917万5千円余、当期損失は、マイナス6万3千円余で、資産並びに負債及び資本、それぞれの合計額は、2,411万1千円余となりました。

報告第2号

一般財団法人八頭町農業公社の経営状況について

平成29年度の事業概要を申し上げますと、(4ページ) 農地の利用権設定等業務では、185.2ヘクタールの利用権設定と、47.4ヘクタールの農地中間管理事業を行っております。農作業の受託業務では、耕耘(こううん)、代かき、田植え、稲刈りで、48.9ヘクタール、畦塗り、2,936メートルの業務を行ってまいりました。

事業実績を昨年度と比較しますと、利用権設定等の面積では、40.3ヘクタールの減、農作業の受託面積では、0.6ヘクタールの減、畦塗りは、2,227メートルの減となっております。

次に、貸借対照表(6ページ)で見ますと、資産の部の流動資産では、現金預金が1,050万3千円余であります。

固定資産では、定期預金が2,000万円。

特定資産では、建物、304万円余、建物付属設備、16万7千円余、什器備品1円、減価償却累計額でマイナス105万2千円余ですので、固定資産合計は2,215万5千円余となり、資産合計といたしまして、3,347万1千円余となっております。

負債の部では、未払金法人税等が15万3千円余、未払消費税等が54万4千円余などありますが、負債合計としましては、96万4千円余となります。

概要を申し上げましたが、トータル的には、資産合計と負債及び正味財産合計、それぞれ3,347万1千円余で合致しております。

(11ページ) 収支計算書で申し上げますと、決算額で次期繰越収支差額が1,035万1千円余となり、(12ページ) 当期末残高となります。

公社の経営方針としまして、今後も、利用権設定に伴います受託面積の拡大を図るとともに、27年度に策定しました、「農業ビジョン」のプラン実行に向け、公社としての事業展開を図ってまいりたいと考えております。

また、農地中間管理機構からの受託事業にも、前年度に引き続き取り組む計画であります。

報告第3号

八東地域振興株式会社の経営状況について

平成29年度の事業概要を申し上げますと、前年度に引き続き、フルーツ総合センターの受託管理及び「道の駅はっとう」の管理事業、また、フルーツ観光園の企画・運営を行い、道の駅利用者へのサービスの向上と販売事業の推進を図ってまいりました。

近年、常態化しつつある国道29号の交通量の減少や、お客様の高齢化等も顕著であり、事業環境は、年ごとに厳しさを増しております。店舗への来客数は前年比89.6%と、減少に歯止めがかからない現状となっているところです。

このような状況下において、地元を中心とした新規のお客様へのサービス向上を図るため、出荷者の会(会員75名)を中心とした、野菜市、また、8月から11月までの4か月間、毎月2回朝市を開催してまいりました。

その他、JAの生産部とも共催し、各種イベントの開催や、宣伝広報活動などを実施し、集客数の増加に努めてきたところでもあります。

また、観光園につきましては、りんごの作柄が良く、入園者、販売額とも前年並みでありましたが、雪害対策、イノシシ対策に費用がかさみ、約39万円の減収となり、当期損失金を計上する要因となりました。

(5ページ) 全体の総売上高は、前年比93.3%の4,790万5千円余となり、人件費の削減、また、他にも経費の徹底見直しを行うなど、効率的な事業運営に努力してまいりましたが、平成29年度につきましては、103万5千円余りの当期損失金を計上することとなりました。

(10ページ) 結果、前期繰越損失金、11万8,098円に当期損失金、103万5,852円を加えました、115万3,950円が損失金となり、積立金を取り崩し処分いたしました。

今後も、関連関係団体との連携を密にするなど、今まで以上に地元とタイアップしたイベント開催や、新たにDM(ダイレクトメール)、HP(ホームページ)、FB(フェイスブック)等によるPR情報発信機能の強化を図り新規顧客、リピーター確保など、集客確保に向け、より一層、地域に密着し、地域から愛される事業展開を図っていかなければならないと考えております。

報告第4号

平成29年度八頭町繰越明許費繰越計算書について

最初に一般会計の主なものを申し上げます。

総務費は、船岡庁舎非常用発電設備更新事業、若桜鉄道対策費の施設整備等で国の補正予算に係る事業によるものです。

次に農林水産業費です。農業費の産地パワーアップ事業は、国の補正予算に係るもの、農業農村整備事業は、高瀬堰改修事業負担金と安井宿排水路改良事業工事費であります。

土木費につきましては、富枝地区等の急傾斜地崩壊対策負担金事業、町道横田1号線及び新道線の改良事業等に係るもの等となっております。

災害復旧費につきましては、公共土木災害（大江志子部線ほか3件）、農地農業用施設災害（皆原頭首工ほか7件）林道施設災害（笹ヶ平線ほか3件）の計16件の災害復旧を行うものです。

一般会計では、14事業、4億7,752万9千円を繰越いたしました。

次に、特別会計です。

簡易水道特別会計では、八東簡易水道水源整備事業2,128万1千円を繰越いたしました。

公共下水道特別会計では、公共下水道計画策定事業、下水道長寿命化事業費1億2,070万円を繰越いたしました。

農業集落排水特別会計では、県施行の下峰寺地内災害復旧事業に伴う下水道施設の移設事業、181万4千円を繰越いたしました。

議案第58号

平成30年度八頭町一般会計補正予算（第1号）

今回の補正は、既定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ5,145万8千円を追加しようとするものです。

歳入の主なものをご説明いたします。

国庫支出金は、地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金事業に伴います、整備費交付金、737万円の増額であります。

県支出金は、農業費の元気な里山応援事業費補助金、77万円余、林業費の森林整備担い手育成対策事業費、14万円余、消防費では、木造住宅耐震診断補助金、13万円余を追加しました。

諸収入は、防火防災訓練災害補償等共済金に5万円余を計上しております。

町債では、ホッケー整備事業債、4,270万円を追加しました。

次に歳出であります。

議会費は、ポータブルランプ等の購入費用として、29万円余、総務費では、下・中私都のプール撤去のための委託料に347万円余、民生費では、地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金事業補助金、737万円、隼地区まちづくり委員会事務室等改修事業として、342万円余、衛生費では、集落ゴミステーション等補助金、80万円を増額しました。

農林水産業費は、和牛改良事業補助金、280万円、元気な里山応援事業補助金、130万円余、姫路公園管理等補修工事、91万円余、竹林公園の施設整備に72万円余を計上しております。

消防費では木造住宅耐震診断委託料、55万円余、教育費は、町営ホッケー場整備事業委託料、4,500万円を増額いたしました。

予備費、1,555万円余を、減額をしております。

議案第59号

平成30年度八頭町農業集落排水特別会計補正予算（第1号）

今回の補正は、既定の歳入歳出予算の総額に、それぞれ253万7千円を追加しようとするものです。

歳入では、桜ヶ丘地内国道拡幅工事に伴う、下水道施設移設工事の下水道事業債、230万円、移設補償費、23万円余を追加し、歳出では、工事費で桜ヶ丘地内下水道施設移設工事請負費、256万円余を増額し、予備費で調整しております。

議案第60号

平成30年度八頭町墓地事業特別会計補正予算（第1号）

今回の補正は、既定の歳入歳出予算の総額に、それぞれ95万1千円を追加しようとするものです。

歳入では、基金からの繰入金95万1千円を追加し、歳出では、総務費で船岡墓地の法面修繕に95万1千円を計上いたしました。